

作業療法学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Hasegawa T, Nishi K, Nagae S, Tomura R, Matsumoto S, Higashi T: Dynamic Changes in Muscle Thickness and Infrapatellar Fat Pad During Quadriceps Setting: An Ultrasound Echo Analysis. *Cureus* 16(12): e76288, c. doi: 10.7759/cureus.76288.
2. Matsumoto S, Yamashita Y, Chang X, Hasegawa T, Nishi K, Moriuchi T, Noguchi K, Nakao Y, Furukawa K, Higashi T: Effects of Disturbed Body Perception on Arm Function in Patients With Frozen Shoulder. *Cureus* 16(9): e69031, 2024. doi: 10.7759/cureus.69031.
3. Kawaguchi K, Moriuchi T, Takita R, Yoshimura K, Kozu R, Yanagita Y, Origuchi T, Matsuo T, Higashi T: Effects of Different Visual Flow Velocities on Psychophysiological Responses During Virtual Reality Cycling. *Cureus* 16(6): e62397, 2024. doi: 10.7759/cureus.62397.
4. Kurasawa S, Tateyama K, Iwanaga R, Kimura D, Fujita T, Tanba H: Structural Relationships Between Behavioral Problems, Sensory Processing Traits, and Sleep Among Preschoolers. *The American Journal of Occupational Therapy* 78(1), 2024. doi: 10.5014/ajot.2024.050271.
5. Kawanaka M, Iwanaga Y, Tokunaga A, Higashi T, Tanaka G, Imamura A, Iwanaga R: Changes in Challenging Behaviors Accompanying Transition to a New Facility in Individuals with Intellectual Disabilities. *Healthcare (Basel, Switzerland)* 12(3), 2024. doi: 10.3390/healthcare12030288.
6. Shiozu H, Kimura D, Iwanaga R, Kurasawa S: Participation as a Predictor of Quality of Life among Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders Analyzed Using a Machine Learning Algorithm. *Children (Basel, Switzerland)* 11(5): 2024. doi: 10.3390/children11050603.
7. Nishi K, Moriuchi T, Okamura R, Hasegawa T, Chang X, Matsumoto S, Koseki H, Higashi T: Mirror Therapy Reduces Pain and Preserves Corticomotor Excitability in Human Experimental Skeletal Muscle Pain. *Brain Sciences* 14(3): 2024. doi: 10.3390/brainsci14030206.
8. Nakashima A, Okamura R, Moriuchi T, Fujiwara K, Higashi T, Tomori K: Exploring Methodological Issues in Mental Practice for Upper-Extremity Function Following Stroke-Related Paralysis: A Scoping Review. *Brain Sciences* 14(3): 2024. doi: 10.3390/brainsci14030202.
9. Ohmoto Y, Terada K, Shimizu H, Kawahara H, Iwanaga R, Kumazaki H: Machine learning's effectiveness in evaluating movement in one-legged standing test for predicting high autistic trait. *Frontiers in psychiatry* 15(): 2024. doi: 10.3389/fpsyt.2024.1464285.
10. Ishii R, Smith S, Iwanaga R, Xiang J, Canuet L, Miyaguchi H, Inadomi H: Editorial: Translational research of occupational therapy and neurorehabilitation. *Frontiers in human neuroscience* 18(): 2024. doi: 10.3389/fnhum.2024.1432073.
11. Okamura R, Nakashima A, Moriuchi T, Fujiwara K, Ohno K, Higashi T, Tomori K: Effects of a virtual reality-based mirror therapy system on upper extremity rehabilitation after stroke: a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. *Frontiers in Neurology* 14: 2024. doi: 10.3389/fneur.2023.1298291.
12. Hasegawa T, Nishi K, Matsumoto S, Yamashita Y, Moriuchi T, Higashi T: Relationship between preoperative and discharge evaluations in patients receiving around-the-knee osteotomy. *Journal of Physical Therapy Science* 36(11): 717-720, 2024. doi: 10.1589/jpts.36.717.
13. Iwanaga Y, Tanaka G, Maruta M, Shiozu H, Kawanaka M, Iwanaga R: Participation Patterns and Associated Factors in Japanese Children With Autism. *OTJR: Occupational Therapy Journal of Research*, 2024. doi: 10.1177/15394492241237741.
14. Kamasaki T, Otao H, Tanaka S, Hachiya M, Kubo A, Okawa H, Sakamoto A, Fujiwara K, Suenaga T, Kichize Y, Shimokihara S, Maruta M, Han G, Mizokami Y, Tabira T: Age-specific comparisons in the rate of force development of toe pressure strength and its association with the timed up and go test. *European Geriatric Medicine* 15(3): 689-698, 2024. doi: 10.1007/s41999-024-00959-2.
15. Shimokihara S, Tabira T, Maruta M, Han G, Sagari A, Iso N, Okabe T, Minami T, Kawagoe M: Does Dialysis Therapy Cause Cognitive Impairment in Older Adults? A Propensity Score Matching Retrospective Study From a Japanese Long-Term Care Insurance Certification Survey. *Asia-Pacific Journal of Public Health* 36(8): 772-779, 2024. doi: 10.1177/10105395241286649.
16. Akasaki Y, Tabira T, Maruta M, Makizako H, Shimokihara S, Hidaka Y, Kamasaki T, Kukizako W, Kubozono T, Ohishi M: Subjective Memory Complaints Related to Satisfaction With Meaningful Activities Among Community-Dwelling Older Adults. *Cureus* 16(11): e73433, 2024. doi: 10.7759/cureus.73433.

A-b

1. Noda H, Yoneda N, Kamogawa K, Tanaka G, Ide M, Iwanaga R: Sensory processing associated with subcategories of restricted and repetitive behaviors in Japanese children and adolescents with autism spectrum disorder. *Frontiers in Child and Adolescent Psychiatry* 3, 2024. doi: 10.3389/frcha.2024.1411445.

B 邦文

B-a

1. 尾崎充希,塩津裕康,田中悟郎,今村明,岩永竜一郎: csx. 日本発達系作業療法学会誌 11(1): 31-35, 2024.
2. 新真奈,松木田英莉,仙石泰仁,加藤寿宏,伊藤祐子,山西葉子,徳永瑛子,岩永竜一郎: 感覚・協調運動の質問紙検査の学齢児における年齢区分の研究. 日本発達系作業療法学会誌 11(1): 19-30, 2024.
3. 今村明: 注意欠如多動症の治療と支援. 精神療法 増刊(11): 61-67, 2024.
4. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 北島貴大, 中村正造, 手塚善貴, 下木原俊, 丸田道雄, 室谷健太, 田平隆行: 高齢の慢性期脳卒中片麻痺患者を対象とした杖使用の有無を判別する身体機能の検討—居住地の変量効果を考慮した横断研究—. 理学療法さが 10(1): 19-28, 2024.

B-b

1. 岩永竜一郎：【子どもの心と育ちを理解するツール】感覚特性と協調運動を理解するアセスメント. 教育と医学 72(5): 446-451, 2024.
2. 今村明,岩永竜一郎：【精神科診療における臨床評価尺度・検査を極める-エキスパートによる実践的活用法】(II章)疾患別の評価尺度・検査 限局性学習症の評価尺度と検査 日本版KABC-II. 精神医学 66(5): 514-519, 2024.
3. 城谷麻衣子,今村明,疋田琳：ASDのフラッシュバックなどのトラウマ関連症状に対する有効な対処法はありますか？. 臨床の疑問に答える 104問発達障害Q&A : 296-298, 2024.
4. 森本芳郎,山本直毅,今村明：ASDをBPSモデルで解釈するとどのようになりますか？. 臨床の疑問に答える 104問発達障害Q&A : 58-61, 2024.
5. 瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村明,清水日智,寺田和憲：ASD診断の効率化に向けた粗大運動評価モデルによる分類. 電子情報通信学会技術研究報告(Web) 124(19(HCS2024 1-33)): 19(HCS2024 1-33), 2024.
6. 今村明：グレーゾーンの発達特性から生じるトラブルについて. 第120回日本精神神経学会学術総会一般シンポジウム79「職場のうつ」と「プレゼンティーズム」: 診断閾下の発達障害／グレーゾーン理解の臨床応用: 606, 2024.
7. 今村明,佐々木剛：こどもの自殺をめぐって. 第120回日本精神神経学会学術総会委員会企画シンポジウム10(児童精神科医療研修委員会): 303, 2024.
8. 今村明：愛着障害と発達軌跡 愛着障害とエピジェネティクス. そだちの科学 (43): 36-41, 2024.
9. 今村明,岩永竜一郎：限局性学習症の評価尺度と検査. 精神医学 66(5): 514-519, 2024.
10. 尾崎希希,塩津裕康,田中悟郎,今村明,岩永竜一郎：肢体不自由特別支援学校教諭が知的障害を伴う脳性麻痺の生徒に実施したCognitive Orientation to daily Occupational Performance(CO-OP)を基盤とした授業実践. 日本発達系作業療法学会誌 11(1): 31-35, 2024.
11. 今村明：症例から学ぶ治療関係の築き方. 九州神経精神医学 69(2): 93-95, 2024.
12. 今村明：成人の神経発達症の診断と告知について. 精神科診断学 16(1): 821-824, 2024.

B-c

1. 今村明：グレーゾーンという言葉聞きますが、どう考えたらよいのでしょうか？. 臨床の疑問に答える104問発達障害Q&A : 28-30, 2024.
2. 今村明,岩永竜一郎,熊崎博一：自閉症スペクトラム症 治療、支援（知的発達症を伴う場合）. 神経発達症群 9: 302-311, 2024.
3. 森本芳郎,山本直毅,今村明：注意欠陥多動症 概念、疫学、症候、診断基準. 神経発達症群 9: 352-361, 2024.
4. 山本直毅,今村明：発達障害と依存症にはどのような関係がありますか？. 臨床の疑問に答える 104問発達障害Q&A : 168-172, 2024.
5. 岩永竜一郎,辻井正次,今村明,山本直毅,疋田琳,熊崎博一：思春期以降のDCDへの対応. 不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック：DCD(発達性協調運動症)入門：124-131, 2024.

B-e-1

1. 今村明,山本直毅,疋田琳,徳永瑛子,岩永竜一郎,熊崎博一：こどもの自殺をめぐって ネット環境と自殺. 精神神経学雑誌 (2024特別号): S304, 2024.
2. 今村明,山本直毅,疋田琳,徳永瑛子,岩永竜一郎,熊崎博一：ネット環境と自殺. 第120回日本精神神経学会学術総会委員会企画シンポジウム10(児童精神科医療研修委員会) 120th: 304, 2024.
3. 近藤達郎,今村明,細野康文,熊謙次郎,山口幸子,川口靖子,富永真理子：強度行動障害を伴う染色体異常のある児・者及びその家族支援のための「パスカルグループ」開催の試み. 日本遺伝カウンセリング学会誌 45(2): 162, 2024.
4. 今村明,辻井農重：現代の音楽は神経発達症児・者の臨床に何をもたらすのか？. 第120回日本精神神経学会学術総会一般シンポジウム73 : 519, 2024.
5. 猿渡京,今村明,岩永竜一郎：現代の音楽は神経発達症児・者の臨床に何をもたらすのか？ 神経発達症児の音楽認知能力の評価と臨床への応用. 精神神経学雑誌 (2024特別号): S520, 2024.
6. 山本直毅,森本芳郎,今村明,熊崎博一：高リスク、あるいは低リスクのギャンブル行動についての示唆的考察(長崎県の令和2年度調査を踏まえて). 第120回日本精神神経学会学術総会一般演題30依存症(1) : 565, 2024.
7. 清水日智,川原紘子,大橋愛子,寺田和憲,岩永竜一郎,熊崎博一：自閉スペクトラム症児の感覚特性と睡眠に関する全国調査 感覚特性に基づく介入の重要性. 精神神経学雑誌 (2024特別号): S402, 2024.
8. 猿渡京,今村明,岩永竜一郎：神経発達症児の音楽認知能力の評価と臨床への応用. 第120回日本精神神経学会学術総会一般シンポジウム73現代の音楽は神経発達症児・者の臨床に何をもたらすのか？ (): 520, 2024.
9. 平林優,谷合弘子,鷺見聡,岩永竜一郎：神経発達症診療 神経発達症児に対する協調運動の質問紙の有用性について 発達外来における実践報告. 日本小児精神神経学会プログラム・抄録集 132回: 53, 2024.
10. 日高欣哉,岩永竜一郎,森岡一朗,西田佳史,井上健,出口貴美子：早産児および神経発達症児の視覚認知の特徴(第4報). 脳と発達 56(Suppl.): S224, 2024.
11. 瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村明,清水日智,寺田和憲：片足立ちにおける足底圧分布と姿勢角度に基づいた粗大運動評価モデルによるASD傾向分類. 日本認知科学大会発表論文集(CD-ROM) 41st: 821-824, 2024.

B-e-2

1. 竹田優那,瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村明,清水日智,寺田和憲：LSTMネットワークを用いたASD児と定型発達児の身体バランスの時系列予測比較. 人工知能学会全国大会論文集(Web) 38th: ROMBUNNO.4T1-OS-6c-03(J-STAGE), 2024.

2. 山本博暉,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村明,清水日智,寺田和憲: LSTMを用いた時系列筆跡データからのASD識別特徴抽出. 日本認知科学学会大会発表論文集(CD-ROM) 41st: 757-760, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	2	6	2

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
今村 明・教授	医療観察法病棟外部評価会議委員	長崎県
今村 明・教授	こころの緊急支援チーム（クライシスレスポンスチーム：CRT）チーム員	長崎県精神医療センター
今村 明・教授	長崎県発達障害者支援センター連絡協議会委員	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター
今村 明・教授	長崎市子どもを守る専門医委員会委員	長崎県立こども医療福祉センターしおさい
今村 明・教授	長崎市教育支援委員会委員【第1号委員】	長崎市子育て支援課
今村 明・教授	長崎県精神医療審査会委員	長崎市教育委員会教育研究所
今村 明・教授	長崎県福祉保健審議会臨時委員	長崎県福祉保健部障害福祉課保健福祉班
今村 明・教授	長崎県精神医療審査会委員	長崎県子ども政策局こども家庭課
今村 明・教授	長崎県発達障害児・者総合支援推進会議委員	長崎県福祉保健部障害福祉課
今村 明・教授	精神保健審判員	長崎県福祉保健部こども政策局
今村 明・教授	児童精神医療委員会	長崎地方裁判所
今村 明・教授	子どもの人権と法に関する委員会委員	公益社団法人 日本精神神経学会
今村 明・教授	長崎県ひきこもり支援連絡協議会委員	一般社団法人日本児童青年精神医学会
今村 明・教授	評議員	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター
今村 明・教授	編集委員	日本スポーツ精神医学会
今村 明・教授	メンタルヘルス対策支援アドバイザー	日本EMDR学会
今村 明・教授	評議員	独立行政法人労働者健康安全機構 長崎産業保健縫合支援センター
岩永竜一郎・教授	長崎県発達障害児・者総合支援推進会議委員	長崎県
岩永竜一郎・教授	令和7年度長崎県ペアレントメンター派遣事業運営委員	長崎県
岩永竜一郎・教授	令和7年度長崎県発達障害等早期支援検討会委員	長崎県
岩永竜一郎・教授	「いじめ・不登校・発達障害等相談」実施協議会委員	長崎県
村田 潤・准教授	理事	
森内剛史・准教授	高大連携推進委員	
森内剛史・准教授	長崎市介護認定審査会委員	
森内剛史・准教授	学会演題審査委員	
森内剛史・准教授	評議員	
森内剛史・准教授	第18回日本作業療法研究学会 学術大会 大会長	
丸田道雄・准教授	評議員	
丸田道雄・准教授	学会演題審査委員	
丸田道雄・准教授	高大連携推進委員	

村田 潤・准教授	理事	日本ヘルスプロモーション理学療法学会
森内剛史・准教授	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
森内剛史・准教授	長崎市介護認定審査会委員	長崎市介護認定審査会
森内剛史・准教授	学会演題審査委員	日本作業療法士協会
森内剛史・准教授	評議員	公益財団法人 長崎県すこやか長寿財団
徳永瑛子・助教	長崎市放課後対策推進審議会委員	長崎市
徳永瑛子・助教	長崎市巡回相談員	長崎市
丸田道雄・准教授	評議員	日本老年療法学会
丸田道雄・准教授	学会演題審査委員	日本作業療法士協会
丸田道雄・准教授	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
岩永竜一郎・教授	長崎県発達障害児・者総合支援推進会議委員	長崎県こども家庭課
岩永竜一郎・教授	令和7年度長崎県ペアレントメンター派遣事業運営委員	長崎県こども家庭課
岩永竜一郎・教授	令和7年度長崎県発達障害等早期支援検討会委員	長崎県こども家庭課
岩永竜一郎・教授	「いじめ・不登校・発達障害等相談」実施協議会委員	長崎県・教育委員会
森内剛史・准教授	第18回日本作業療法研究学会 学術大会 大会長	日本作業療法研究学会
東 登志夫・教授	理事	日本作業療法研究学会
東 登志夫・教授	学術委員会委員長	日本作業療法士協会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
今村 明・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「EP400遺伝子改変マウスを活用した統合失調症/自閉スペクトラム症の病態解明」
今村 明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「成人期PTSDに対するEMDRの無作為割付による効果検証に関する研究」
今村 明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ダウン症者における在宅での簡易検査を用いた睡眠呼吸障害の評価と睡眠支援の構築」
今村 明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学的評価と早期依存対策に向けた基盤研究」
今村 明・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金 疾患別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者の QOL 向上に資する研究（24FC0101）「ダウン症候群における自然歴調査とQOL向上のための包括的支援体制構築のための研究」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「発達障害特性評価のための総合的発達検査の開発」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「5歳時点の自閉症スペクトラムリスクと生後1週間、1歳半、3歳時点の発達状況の関連」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「EP400遺伝子改変マウスを活用した統合失調症/自閉スペクトラム症の病態解明」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学的評価と早期依存対策に向けた基盤研究」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ASD児における嗅覚を介した親子間社会的絆形成不全モデルの包括的解明」
岩永竜一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「自閉スペクトラム症児の柔らかさの知覚（softness perception）と協調運動障害」

村田 潤・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「手指感覚識別時の指腹部発汗量を指標とする感覚機能の新しい客観的評価法の開発」
村田 潤・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「個別最適化した超早期認知症予防介入プログラムの開発とシステム構築」
村田 潤・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「浮腫を発症する疾患における微小循環動態を皮膚血流量・皮膚再灌流圧で検討する研究」
森内剛史・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「左偏移ブリズム順応が言語流暢性や脳血流動態に与える影響と臨床的有用性の検証」
丸田道雄・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「精神障害者へのスティグマを軽減するVirtual Realityプログラムの開発」

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
森内剛史・准教授	非常勤講師（障害の理解Ⅱ）	長崎純心大学

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
今村 明・教授	加害者治療の議論不足 再犯予防へ「継続的関わりを」 長崎県でも増える性犯罪	長崎新聞	2024年 6月 5日	性犯罪加害者への関わり、再犯防止についての考え方を広く社会へと発信した。
今村 明・教授	北九州市戸畑区で自殺予防シンポジウム 精神科医が発達障害の特性を説明	西日本新聞	2024年 9月 8日	発達障害特性を持つ人の生きづらさと自殺予防についてのシンポジウムに参加し社会へ発信した。
今村 明・教授	読者の質問に返答 保護者は理解し支える味方に	長崎新聞	2024年12月10日	我が子が少年犯罪の加害者とならないために、家族が気を付けることについて社会へ発信した。